

② 第二次実践〔「想像を広げて」〕を通して

「よさ」を育てる個人カルテ

5年1組 20番 氏名 F. S

「学習全般」		児 童	教 師	親
診断的 評価	性 格 ・ 行 動	ねばり強い／健康である／動物がすき	動物愛／意志強固／個性的で発想がユニーク	努力家／素質才能あり／健康／動物愛
	学 習 全 般	よく読書をする	読書量が多く読解力もある。	読書好き／発想がユニーク／公共施設をよく活用／家庭学習をよくする
	読 書 傾 向	月に20冊（こわい本・理科の本・マンガ）	休み時間もほとんど読書をしている	よく読む（親の本まで読んでしまう。）
「国語科学習」		児 童	事前にとらえたジグタビリティのレーダーチャートと社会的距離指数	
「よさ」の 把握	学 習 の 仕 方	国語はあまり好きではない（むずかしい）グループ学習がすき		<p>*社会的距離指数 (85)</p>
	国語科学習中の「よさ」	読む学習は楽しい（とくに物語の学習）		
	作文の学習が好きですか	大変すき すき ふつう あまり <u>全く</u>		
	構想表に基づいて書いていたか	いつも ときどき たまに <u>ほとんど</u> 全く		
作文学習段階における「よさ」の生かし方	構想表から作品を作る（基礎的・基本的な内容）		「個のよさ」を生かす手だて	題材に対する見方や考え方や物語の書き方（「よさ」）
	題設定 主メ 題 構想 を 作 成 し て 読 み 合 い を 集 成	<p>題材名（タニシとメダカ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 休み時間や放課後になると、学級で飼っているメダカとタニシの所に行って一人言を言っている。F子には、最悪の題材である。 ○ 中心になる出来事がしっかりしている。これに比べて主題意識がいま一つである。あまり教訓的にならないよう指導する。 ○ 題材設定、主題メモ作成の段階で、頭の中に構想が出来ていたようである。構想表に書くことによって、より明確になるようにさせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材選びの段階の一せいで学習で範例として取り上げる。 ○ 題材メモの書き方のすばらしさを、グループ指導の中で取り上げる。（動物好きな点と発想が実にユニークな点、などについて特に） ○ 全体で作品を読み合ってまとめる段階で、特に個性がよく出ている作品として取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材メモが実によく出来ていて、「メダカがちよこちよこおよいでいてかわいい」とか、「タニシはゆっくりで、ふきみだが、じっとみているとあいきょうがある」等の見方、観察力が生かされるように援助する。 ○ 書き方に「おもしろいように書きたい」とある。この内容をもう少し掘り下げ、場面設定や登場人物の関係、話の展開のおもしろさ等、構想表作成段階で指導すること、文体や語句の使い方等、記述段階で指導することを整理しながら個別指導を行う。 ○ 日常生活でよく使用している、力強い言葉やユーモアある話し方等が物語の中に生かされるよう指導する。特に会話文の使い方などに。
	友達から見た「よさ」	ア. 作品に対する感想	イ. 構想表の観点と作品との対応	ウ. 自分なりの見方や考え方や物語の書き方
グ ル ー プ 内 で の 相 互 評 価	<p>Y・S A・O M・M</p>	<p>ア. タニシとメダカを題材にしてこんなにおもしろいものをつくるなんてすごいね。</p> <p>メダカの大ききやお話がとてもおもしろい。</p> <p>とてもユニークな考えの物語だった。</p>	<p>イ. ヤゴとミジンコとミカツキモのぎゃくしゅうがよく出た。</p> <p>構想表とお話がとてもよくつながっている。</p> <p>あらずじが物語の中にとてもよく表れている。</p>	<p>ウ. おもしろく書くのが、F子さんらしさが出ていたと思う。</p> <p>音の表し方、書き方がとてもF子さんらしい。</p> <p>F子さんは動物がすきで、とてもかわいい。</p>
自 分 の コ メ ン ト	おもしろくできたと思う。		なまけものりょうしのところがよく出るようふうした。	動物のことでおもしろく物語が作れた。おもしろくできた。（特にミカツキモのぎゃくしゅうのところ）
教 師 の コ メ ン ト	とてもおもしろいお話だね。まるで「うらしま太郎」みたい。でもこれはF子さんのオリジナルだね。		場面の設定や、あらずじ、人物などが物語の中によく生かされているね。	動物が大すきで、読書家のF子さんにしか書けない物語だね。いせいかいところもF子さんらしいね。
学 習 の ま と め	児 童 の ま と め		事前にとらえたジグタビリティのレーダーチャートと社会的距離指数	教 師 の 観 察
	作 好 文 き か か	大変すき すき <u>ふつう</u> あまり 全く		<p>*社会的距離指数 (94 (13))</p>
	構 役 想 っ た か か	とても <u>まあまあ</u> ふつう あまり 役立たない		
一 さ よ さ れ か げ 生 か か	まあまあ生かされた。みんなにF子さんらしい物語だと言われたから。動物のことで楽しい物語ができたし、おもしろいお話ができた。		作文の学習がきらいだと言っていた児童だが、生き生きと意欲的に学習していた。構想表を作成する段階ではややめんどろがる事もあったが、作成段階は特に楽しそうだった。動物が好き、と言ったよさだけでなく、自分をユーモアがある人ととらえる事ができたようである。	